

下妻会長

【各要望活動について】

11月は政府予算に関連して様々な要望活動をしたので、それらについての話題を申し上げます。その中で、福田総理にお目にかかる機会があり、どういう気持ちで総理をされておられるのかなと考えながら、勝手な質問をさせて戴いた。テレビ等を通して、総理は淡々としているように見えるが、色々な懸案事項について、総理自身が思い悩みながら問題解決をしようと努力されていることがよく伝わった。会談の詳細は差し控えたいが、安定感のある体制になったという感じがした。

西日本経済協議会の要望では、9月の総会決議をご説明し、その推進方をお願いしたほか、学研都市についても、関西の核として様々なご協力をお願いした。

中でも「私のしごと館」について、同館が関西で果している役割や実態を強調し、将来の人材の職業意識の高揚に不可欠な施設だということアピールさせていただいた。「私のしごと館」を実際に見て私は、いわゆる京都の匠の職人の方々が自分の声と手で教育をする、また、それに対する生徒たちの対応の仕方を通じて、やり方によってはきっちりする若者も多いと感じた。すなわち今、学校で行われている、好き勝手にやりなさいというような教育とは違う方法で仕掛けていけば、それなりの効果があると「私のしごと館」を通じて体感したと政治家の方々に強くアピールをした。教育問題は重要だと皆は口々に言うが、「私のしごと館」のような実践教育、しかも一つの規律を持って厳格にやれる教育機会が必要だと感じた次第。

もう一点は、関空について。2期への国際物流関連の約45億円の整備計画を必ず実施してもらうようお願いさせていただいた。これについては、大臣をはじめ多くの方々に理解いただいたように思う。与党関空推進議員連盟（中山太郎会長）の総会でも、そうした決議がなされるなど、関空の追い風になっている。また、各部門長の方々も、関空の過大債務の問題についてかなり意識が高まっている。関空もこれから、アジアに開かれた、世界に開かれた空港として競争力のある体制づくりが必要。

1兆2000億円と言われていた債務が、実質1兆1300億円に減っているとのことだが、これも去年、今年の実績の好転の結果、借入金が返済できたからである。いずれにしても、ご関係の方々には粘り強くお願いをしまいたい。

【ベトナム国家主席の関西訪問について】

先般、チェット ベトナム国家主席が国賓として訪日され、東京のほか関西も訪問いただいた。11月28日には京都での晚餐会に参加させていただき、その翌日、大阪で経済フォーラムを開催させていただいた。それぞれの会合では、ベトナム側からは主席自らが日本に対する期待の大きさを語り、我々も、ベトナムに進出している企業を含め、これから先のベトナムの経済進展に伴い、関西経済界としてできる役割を経済団体としてもやっていこうじゃないか、といったお話をさせていただいた。また、関経連が近くベトナムで経営研修セミナーを実施すること等も高く評価されていた。

こうした話題も含め、もともと元気な関西をアピールする中で、東京をはじめ多くの方々から、「かなり注目される大阪・関西」になってきたと実感し始めている次第。

以上